

# 未来の技術者が熱戦

## 高校生電気工事コンテスト

会協業設電  
援後協設電  
県ら

第25回茨城県高等学校電気工事コンテストが9日、牛久市の関電工人材育成センターで開催された。6校から11人が参加し、熱戦が繰り広げられた。県内高校の電気系学科の生徒を対象に、電気工事の基礎から応用への技術向上を図るとともに電気工事に関する意識



高校生が技術を競い合う

う大会だが、熱い戦いだけでなく、仲間として交流を深める機会としてほしい。これまで培ってきた力を遺憾なく発揮し、高校生生活の思い出としていただきたい」とあいさつ。

の高揚を目的に毎年、開かれており、県高等学校教育研究会工業部電気部会が主催し、県電設業協会、関電工茨城支店が後援。大会委員長を務める県高等学校教育研究会工業部電気部会の高橋秀樹会長は、「電気工事の将来を担う皆さまの技術や技能を競い合



優勝、準優勝2人が関東大会へ進出

県電設業協会の和田本聡会長は「この大会は、未来の電設業界を担う若手技術者の育成に大切なもの。練習の成果を発揮していただき、皆さんが、これから社会で活躍できることを祈念



和田本会長



高橋大会委員長

する」とした。同協会では、課題作成および、資材の提供、練習用に現場で出た余った電線を提供するなど、協力をを行っている。競技では、1820mm×1820mmの垂直パネルに本年度第一種電気工事士技能問題を参考にした「ケーブル工事」および「PFF管工事」の配線工事を実施。日頃培った技術力や正確

さ、見栄えなどを競い合った。優勝は玉造工業高校電気科の橋本威吹さん、準優勝には同校の羽生柊也が輝き、上位入賞2人は山梨県で開催される関東甲信越地区大会に推薦される。優勝した橋本さんは「練習以上の成果が出せた。さらに技術を磨き、関東大会も1位で通過して全国大会を目指

したい」と意気込みを語る。審査委員長を務めた県電設業協会の大島浩副会長は「年を重ねるごとに、素晴らしい作品が増えている。電気工事コンテストに参加したことが、自信と誇りになるもの」と講評し、「電気工事を通して世の中に役立つこの業界に入っていたきたい」とした。